

# 装具の基本, アクセサリーの基本 -形と皮膚保護剤の性質-

西林直子

奈良県立医科大学附属病院 看護部 創傷相談室, 皮膚・排泄ケア認定看護師

## Point

- ▶ ストーマ装具の基本的な構造・特徴を理解することができる
- ▶ 皮膚保護剤の性質・作用を理解することができる

## はじめに

ストーマに装着する器具を「ストーマ装具」といいます<sup>1)</sup>。現在、国内で販売されているストーマ装具は多種多様であり、新しい機能を備えた装具が次々と発売されています。本章では、2009年に大村らによるストーマ装具選択基準検討委員会によって発表されたストーマ装具の分類をもとに述べていきます(表1)。

表1 粘着性ストーマ装具の分類(文献<sup>2)</sup>より引用)

| 構造分類    | 亜分類      | 仕様                         |
|---------|----------|----------------------------|
| システム    | 消化管用・尿路用 |                            |
|         | 単品系・二品系  |                            |
| 面板      | 面板の形状    | 平板・凸型(浅い・中間・深い)            |
|         | 面板の構造    | 全面皮膚保護剤・外周テープ付き<br>テーパードッジ |
|         | 面板の柔軟性   | 柔らかい・硬い                    |
|         | 皮膚保護剤耐久性 | 短期用・中期用・長期用                |
|         | ストーマ孔    | 既成孔・自由開孔・自在孔               |
| 面板機能補助具 | 補助具      |                            |
|         | ベルト連結部   | ベルト使用あり・なし                 |
| フランジ    | フランジの構造  | 固定型・浮動型                    |
|         | 嵌合方式     | 嵌合式・ロック式・粘着式               |
| ストーマ袋   | ストーマ袋の構造 | 閉鎖型・開放型・尿路用                |
|         | ストーマ袋の色  | 透明・半透明・肌色・白色               |
|         | 閉鎖具      | 付帯型・固有閉鎖具・その他              |

## ストーマ装具のシステムとフランジ

### 単品系・二品系装具

ストーマ装具は「単品系装具」と「二品系装具」に分類されます(図1)。

単品系装具は、面板とストーマ袋が一体となった装具で、フランジ(面板とストーマ袋を接合するためのプラスチック部)がありません。嵌合する手間がなく装着が簡単であり、厚みがないため目立ちにくく、とくに平板の装具では柔らかいという特徴があります。また、ストーマの有効径が大きなものが多いため、ストーマサイズが大きい場合には単品系を選択することがあります。しかし、ストーマとストーマ孔が合わせにくい、一度装着するとストーマ袋のみを外してストーマを直接観察することができなくなるといった欠点があります。

二品系装具は、面板とストーマ袋が別々になっている装具で、フランジが付帯しています。ストーマを直接見ながら面板を装着できるためストーマ孔が合わせやすく、ストーマ袋のみを交換することができます。一方で、面板とストーマ袋が不

意に外れる可能性がある、フランジの厚みがあり目立ちやすいという欠点もあります。フランジの厚みについては、違和感があると感じる場合もあれば、逆に安定感があると感じる場合もあり、ストーマ保有者によって感じ方は異なります。

### フランジの構造

二品系装具のフランジ構造は「固定型」と「浮動型」に分けられます(図2)。

固定型は、浮動型に比べると硬いため、ちりめん状の浅く細かなしわのある腹壁を押さえることができます。

浮動型は、フランジと面板との間に指を入れながらストーマ袋を嵌合することができるため、術後創部痛がある場合などでは腹圧をかけることなく嵌合することが可能です。

### 嵌合方式

嵌合方式は、面板とストーマ袋との間の溝をかみ合わせる「嵌合式」、ストーマ袋が外れるのを防ぐために嵌合後にロックがかかる仕組みになって



図1 単品系と二品系

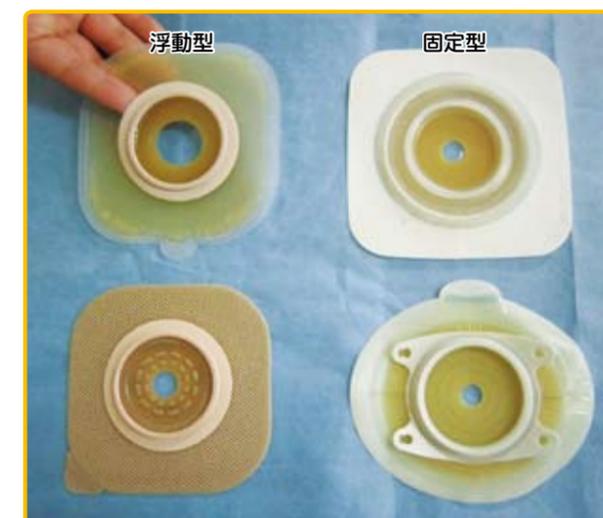


図2 浮動型と固定型